
















# 補習指導型モデル学習プラン

# 英語(文系・理系共通)

モデルケース:入試に必要な基礎学力を確実に固めさらにワンランク上の志望校を目指す生徒

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高1												
ワンポイントアドバイス	<p>高1は、主に英文法の基礎固めを行います。「高校ゼミ スタンダード英語Ⅰ」を8月までにある程度終わらせて、9月から基礎レベルの「高校ゼミ セミナーワーク英作文 VOL.1」を行います。12月に行う「高校ゼミサポート select Ⅲ 英語Ⅰ」は、「高校ゼミ スタンダード英語Ⅰ」と比べると難易度が高めなので、挑戦問題として、1～2ヵ月かけてゆっくり進めても構いません。苦手な単元は、そのつど「高校ゼミ スタンダード英語Ⅰ」に戻って、基本事項を確認しましょう。また、高1の段階から単語ノートを作り、知らない単語が出てくるたびに、辞書を引いて単語ノートに書く習慣を付けるとよいでしょう。</p>											
高2												
ワンポイントアドバイス	<p>高2も、高1と同じく「高校ゼミ スタンダード英語Ⅱ」を8月までにある程度終わらせて、9月から「高校ゼミ セミナーワーク英作文 VOL.2」を行います。英作文上達のコツは、とにかく問題量をこなして出題パターンを覚えてしまうことなので、高1で使った「高校ゼミ セミナーワーク英作文 VOL.1」も含めて、何度も反復しましょう。「高校ゼミサポート select Ⅲ 英文解釈」は難易度が高めなので、1～2ヵ月かけて進めることをお勧めします。「高校ゼミサポート select I 英語重要構文」を前倒しで、2月頃から時間をかけて行うのもよいでしょう。解きっぱなしにならないよう、同じテキストを2回は反復学習します。1回目は授業で行い、2回目は自学自習で進める学習法も効率的です。</p>											
高3				<p style="writing-mode: vertical-rl;">志望校の過去問題開始</p> 								
ワンポイントアドバイス	<p>高3は、「高校ゼミ ステップワーク英語」を用いて入試に対する実践力を磨きながら、同時に今までの総復習も行います。7月頃から「高校ゼミ エッセンス英語長文」を使って本格的に長文読解の練習に取り掛かり、8月頃から過去問を開始します。9月以降は「高校ゼミ セミナーワーク英文法・英文読解(基礎)」「センター試験40分模試 英語」を使って、センターレベルの問題を通して、総合的な英語力を高めます。最後に、「高校ゼミサポート select Ⅲ 英語長文」で長文読解の総仕上げを行います。高3の段階で文法に不安がある場合は、「高校ゼミ エッセンス英文法総合」を使って、文法事項の総仕上げをすることをお勧めします。基本レベルの通年テキストを中心に、じっくりと時間をかけて進めていくプランです。</p>											